

3.2 社会的状況

3.2.1 行政区画

(1) 市町村界及び行政区界

浦添市、宜野湾市及び那覇市は、沖縄本島中南部に位置し、東シナ海に面する西海岸沿いに位置する。

対象地域における行政区画は図 3.2.1-1 に示すとおりである。

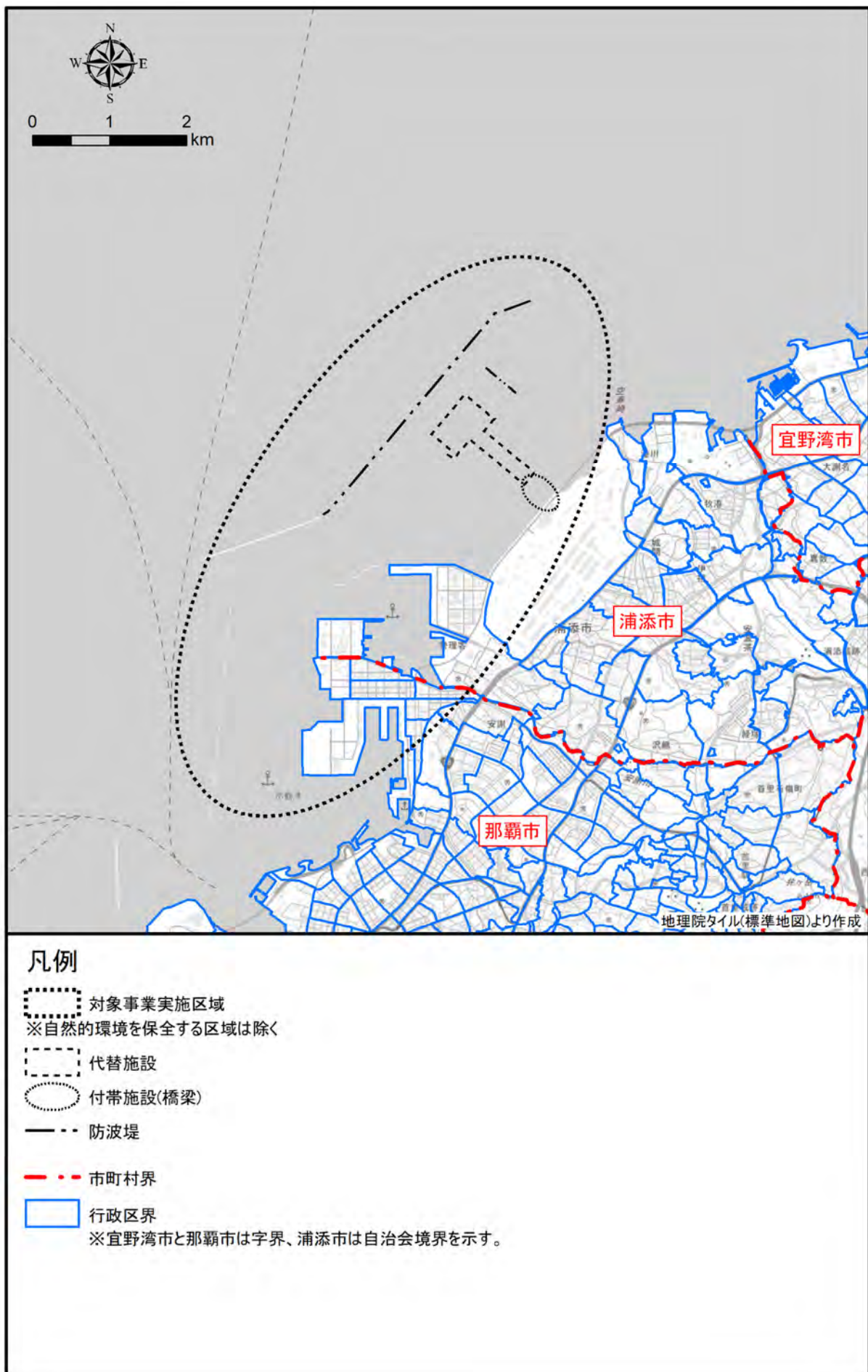


図 3.2.1-1 行政区画図

3.2.2 人口

(1) 人口動態及び世帯数

浦添市、宜野湾市及び那覇市の人口と世帯数は、表 3.2.2-1 に示すとおりである。

令和 6 年現在の人口は、浦添市が 115,586 人、宜野湾市が 100,368 人、那覇市が 310,353 人となっている。世帯数は、浦添市が 50,042 世帯、宜野湾市が 46,451 世帯、那覇市が 149,607 世帯となっている。平成 16 年からの推移をみると、人口と世帯数は、浦添市と宜野湾市は増加傾向にあり、那覇市は、ほぼ一定の値を推移している。

表 3.2.2-1 人口及び世帯数の推移

市区	項目	平成 16 年	平成 21 年	平成 26 年	令和元年	令和 6 年	増加率 (%) (R5/H15)
浦添市	人口 (人)	総数	105,128	109,317	112,517	115,158	110
		男	51,611	53,459	54,849	55,836	108
		女	53,517	55,858	57,668	59,322	112
	世帯数(世帯)	38,160	41,465	43,599	47,222	50,042	131
宜野湾市	人口 (人)	総数	89,507	92,465	94,840	98,093	112
		男	43,939	44,920	46,007	47,680	111
		女	45,568	47,545	48,833	50,413	113
	世帯数(世帯)	34,720	37,063	38,545	42,330	46,451	134
那覇市	人口 (人)	総数	310,476	314,897	320,719	317,606	100
		男	149,449	151,294	154,671	153,715	101
		女	161,027	163,603	166,048	163,891	99
	世帯数(世帯)	121,950	129,507	137,490	142,962	149,607	123

注：各年 10 月 1 日現在

出典：第 48～67 回沖縄県統計年鑑(平成 16 年版～令和 6 年版)（平成 17 年 3 月～令和 7 年 3 月、沖縄県企画部統計課）

(2) 人口密度

浦添市、宜野湾市及び那覇市の人口密度は、表 3.2.2-2 に示すとおりである。

令和 2 年現在の人口密度は浦添市が約 5,933 人/km²、宜野湾市が約 5,057 人/km²、那覇市が約 7,668 人/km²となっている。平成 17 年からの推移をみると、浦添市、宜野湾市は増加傾向にあり、那覇市は、平成 27 年までは増加傾向にあったが、令和 2 年にかけて減少傾向に転じている。

表 3.2.2-2 人口密度の推移

市区	人口密度 (人/km ²)			
	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年
浦添市	5,555.2	5,780.6	5,864.1	5,932.8
宜野湾市	4,559.1	4,666.4	4,860.8	5,056.8
那覇市	7,961.1	8,051.8	8,072.7	7,668.4

※平成 17 年のみ、国勢調査の結果より人口密度の結果が得られていないため、人口総計〈国勢調査〉と市面積〈面積調〉より算出

出典：国勢調査_都道府県・市区町村別の主な結果（総務省統計局 HP）

全国都道府県市区町村別面積調（国土交通省国土地理院 HP）

(3) 人口分布

浦添市の人口分布は表 3.2.2-3 に、宜野湾市の人口分布は表 3.2.2-4 に、那覇市の人口分布は表 3.2.2-5 に示すとおりである。

浦添市の行政区別では宮城が 9,586 人で最も多く、次いで内間が 9,158 人、前田が 5,820 人の順で多い。

宜野湾市の行政区別では長田が 10,147 人で最も多く、次いで真栄原が 9,837 人、我如古が 8,790 人の順で多い。

那覇市の町丁字別では、字国場が 10,889 人で最も多く、次いで首里石嶺町 4 丁目が 9,070 人、字小緑が 8,750 人の順で多い。

表 3.2.2-3 浦添市の人口分布

(令和 7 年 5 月末現在)

番号	行政区名	人口 (人)	番号	行政区名	人口 (人)	番号	行政区名	人口 (人)
1	仲間	2,925	15	前田	5,820	29	港川崎原	271
2	安波茶	1,399	16	西原一区	2,300	30	上野	920
3	伊祖	3,860	17	西原二区	2,852	31	マチナトタウン	1,531
4	牧港	5,109	18	当山	1,785	32	神森	1,178
5	港川	5,743	19	大平	4,634	33	浦西	1,747
6	城間	4,441	20	広栄	759	34	安川	577
7	屋富祖	4,123	21	茶山	930	35	当山ハイツ	1,077
8	宮城	9,586	22	緑ヶ丘	2,064	36	浦添ハイツ	269
9	仲西	3,044	23	浦城	4,422	37	県営経塚団地	283
10	小湾	4,606	24	浦添 ニュータウン	1,932	38	浦添市街地住宅	319
11	勢理客	4,500	25	牧港ハイツ	325	39	県営沢岬高層住宅	230
12	内間	9,158	26	浦添 グリーンハイツ	1,891	40	陽迎橋	3,245
13	沢岬	4,289	27	浅野浦	5,265	41	県営港川団地	315
14	経塚	5,264	28	前田公務員宿舎	129	42	キャンプキンザー	54

出典：浦添市の人口_指定区別人口調（浦添市 HP）

表 3.2.2-4 宜野湾市の人口分布

(令和 7 年 5 月末現在)

番号	行政区名	人口 (人)	番号	行政区名	人口 (人)	番号	行政区名	人口 (人)
1	野嵩 1 区	5,828	8	喜友名	3,460	15	真栄原	9,837
2	野嵩 2 区	761	9	伊佐	4,203	16	我如古	8,790
3	野嵩 3 区	1,074	10	大山	7,875	17	長田	10,147
4	普天間 1 区	941	11	真志喜	7,679	18	宜野湾	6,302
5	普天間 2 区	560	12	宇地泊	4,520	19	愛知区	6,351
6	普天間 3 区	1,869	13	大謝名	5,625	20	中原	5,410
7	新城	3,761	14	嘉数	5,304	21	キャンプフォスター	0

出典：宜野湾市人口統計_宜野湾市行政区別人口統計表（宜野湾市 HP）

表 3.2.2-5(1) 那覇市の人口分布

(令和7年5月末現在)

番号	町丁字名	人口 (人)	番号	町丁字名	人口 (人)	番号	町丁字名	人口 (人)
1	曙1丁目	1,402	46	樋川2丁目	1,253	91	識名2丁目	972
2	曙2丁目	1,347	47	前島1丁目	1,201	92	識名3丁目	2,119
3	曙3丁目	2,174	48	前島2丁目	1,663	93	識名4丁目	768
4	旭町	170	49	前島3丁目	1,111	94	字大道	3,294
5	字安謝	3,391	50	牧志1丁目	1,303	95	字仲井真	4,592
6	安謝1丁目	1,967	51	牧志2丁目	2,118	96	長田1丁目	1,796
7	安謝2丁目	2,971	52	牧志3丁目	1,988	97	長田2丁目	5,302
8	字天久	2,667	53	松尾1丁目	1,538	98	繁多川1丁目	2,503
9	天久1丁目	2,123	54	松尾2丁目	2,432	99	繁多川2丁目	1,584
10	天久2丁目	2,903	55	松山1丁目	921	100	繁多川3丁目	1,510
11	泉崎2丁目	1,884	56	松山2丁目	976	101	繁多川4丁目	1,615
12	泉崎1丁目	1,195	57	港町1丁目	0	102	繁多川5丁目	2,082
13	字上之屋	1,124	58	港町2丁目	300	103	字古島	235
14	上之屋1丁目	1,822	59	港町3丁目	0	104	古島1丁目	1,319
15	奥武山町	196	60	港町4丁目	0	105	古島2丁目	1,866
16	おもろまち1丁目	1,133	61	字銘苺	1,075	106	字真地	3,621
17	おもろまち2丁目	1,429	62	銘苺1丁目	2,112	107	真嘉比1丁目	1,888
18	おもろまち3丁目	1,308	63	銘苺2丁目	1,725	108	真嘉比2丁目	2,641
19	おもろまち4丁目	2,355	64	銘苺3丁目	1,769	109	真嘉比3丁目	1,429
20	久米1丁目	1,421	65	山下町	2,183	110	松島1丁目	1,320
21	久米2丁目	1,753	66	若狭1丁目	852	111	松島2丁目	928
22	久茂地1丁目	100	67	若狭2丁目	1,285	112	字松川	2,976
23	久茂地2丁目	886	68	若狭3丁目	1,872	113	松川1丁目	1,341
24	久茂地3丁目	534	69	垣花町	0	114	松川2丁目	1,262
25	古波蔵3丁目	3,305	70	垣花町1丁目	0	115	松川3丁目	2,392
26	古波蔵4丁目	819	71	垣花町2丁目	0	116	三原1丁目	2,168
27	楚辺1丁目	1,424	72	垣花町3丁目	55	117	三原2丁目	2,690
28	楚辺2丁目	2,590	73	住吉町1丁目	0	118	三原3丁目	1,507
29	楚辺3丁目	521	74	住吉町2丁目	0	119	字寄宮	493
30	辻1丁目	1,603	75	住吉町3丁目	0	120	寄宮1丁目	1,460
31	辻2丁目	900	76	古波蔵1丁目	2,791	121	寄宮2丁目	2,410
32	辻3丁目	0	77	古波蔵2丁目	1,796	122	寄宮3丁目	1,602
33	壺川1丁目	1,357	78	壺屋2丁目	1,820	123	首里赤田町1丁目	335
34	壺川2丁目	1,352	79	字与儀	3,269	124	首里赤田町2丁目	347
35	壺川3丁目	832	80	与儀1丁目	1,293	125	首里赤田町3丁目	176
36	壺屋1丁目	2,018	81	与儀2丁目	1,549	126	首里赤平町1丁目	345
37	泊1丁目	3,186	82	字安里	3,752	127	首里赤平町2丁目	658
38	泊2丁目	1,685	83	安里1丁目	604	128	首里池端町	138
39	泊3丁目	1,568	84	安里2丁目	923	129	首里石嶺町1丁目	2,748
40	通堂町	0	85	安里3丁目	914	130	首里石嶺町2丁目	5,752
41	西1丁目	1,336	86	字上間	3,807	131	首里石嶺町3丁目	3,675
42	西2丁目	1,145	87	上間1丁目	931	132	首里石嶺町4丁目	9,070
43	西3丁目	1,257	88	字国場	10,889	133	首里大名町1丁目	1,601
44	東町	1,130	89	字識名	1,450	134	首里大名町2丁目	769
45	樋川1丁目	2,435	90	識名1丁目	1,946	135	首里大名町3丁目	1,876

出典：毎月町丁字別人口表（那覇市HP）

表 3.2.2-5(2) 那覇市の人口分布

(令和7年5月末現在)

番号	町丁字名	人口 (人)	番号	町丁字名	人口 (人)	番号	町丁字名	人口 (人)
136	首里大中町1丁目	421	164	首里当蔵町2丁目	552	192	小禄4丁目	1,721
137	首里大中町2丁目	222	165	首里当蔵町3丁目	56	193	小禄5丁目	1,261
138	首里金城町1丁目	488	166	首里桃原町1丁目	390	194	字鏡水	509
139	首里金城町2丁目	381	167	首里桃原町2丁目	404	195	鏡原町	1,797
140	首里金城町3丁目	275	168	首里鳥堀町1丁目	161	196	字具志	0
141	首里金城町4丁目	998	169	首里鳥堀町2丁目	293	197	具志1丁目	1,689
142	首里儀保町1丁目	290	170	首里鳥堀町3丁目	551	198	具志2丁目	1,684
143	首里儀保町2丁目	214	171	首里鳥堀町4丁目	2,416	199	具志3丁目	2,216
144	首里儀保町3丁目	328	172	首里鳥堀町5丁目	975	200	字高良	0
145	首里儀保町4丁目	406	173	首里真和志町1丁目	163	201	高良1丁目	773
146	首里久場川町1丁目	1,244	174	首里真和志町2丁目	134	202	高良2丁目	1,559
147	首里久場川町2丁目	2,433	175	首里山川町1丁目	1,214	203	高良3丁目	613
148	首里崎山町1丁目	612	176	首里山川町2丁目	468	204	字田原	1,892
149	首里崎山町2丁目	210	177	首里山川町3丁目	572	205	田原1丁目	1,070
150	首里崎山町3丁目	441	178	字赤嶺	0	206	田原2丁目	319
151	首里崎山町4丁目	592	179	赤嶺1丁目	1,339	207	田原3丁目	1,928
152	首里寒川町1丁目	810	180	赤嶺2丁目	1,654	208	田原4丁目	523
153	首里寒川町2丁目	755	181	字宇栄原	3,175	209	字当間	1,018
154	首里末吉町1丁目	692	182	宇栄原1丁目	2,005	210	字宮城	0
155	首里末吉町2丁目	1,252	183	宇栄原2丁目	1,483	211	宮城1丁目	1,388
156	首里末吉町3丁目	1,495	184	宇栄原3丁目	2,956	212	字安次嶺	301
157	首里末吉町4丁目	412	185	宇栄原4丁目	2,143	213	字大嶺	0
158	首里平良町1丁目	1,035	186	宇栄原5丁目	410	214	金城1丁目	938
159	首里平良町2丁目	510	187	宇栄原6丁目	725	215	金城2丁目	1,805
160	首里汀良町1丁目	379	188	字小禄	8,750	216	金城3丁目	527
161	首里汀良町2丁目	443	189	小禄1丁目	3,914	217	金城4丁目	442
162	首里汀良町3丁目	1,073	190	小禄2丁目	798	218	金城5丁目	1,496
163	首里当蔵町1丁目	563	191	小禄3丁目	813			

出典：毎月町丁字別人口表（那覇市HP）

3.2.3 産業

(1) 産業構造及び産業人口

浦添市、宜野湾市及び那覇市の産業構造及び産業別就業者数の状況は表 3.2.3-1 に示すとおりである。

令和 2 年現在の浦添市の産業別就業者数は、第 1 次産業が 172 人（0.4%）、第 2 次産業が 5,781 人（12.9%）、第 3 次産業が 36,730 人（81.7%）となっている。

宜野湾市の産業別就業者数は、第 1 次産業が 264 人（0.7%）、第 2 次産業が 4,906 人（13.6%）、第 3 次産業が 29,268 人（81.1%）となっている。

那覇市の産業別就業者数は、第 1 次産業が 824 人（0.7%）、第 2 次産業が 12,244 人（9.7%）、第 3 次産業が 107,615 人（85.5%）となっている。

浦添市、宜野湾市及び那覇市ともに、第 3 次産業を中心とした産業構造となっている。中でも「卸売業、小売業」、「医療、福祉」、「サービス業（他に分類されないもの）」の占める割合が高い。

表 3.2.3-1 産業構造及び産業別就業者数

（令和 2 年 10 月 1 日現在）

産業大分類	浦添市		宜野湾市		那覇市	
	総数 (人)	構成比 (%)	総数 (人)	構成比 (%)	総数 (人)	構成比 (%)
全産業総数	44,947	100.0	36,086	100.0	125,837	100.0
第 1 次産業	172	0.4	264	0.7	824	0.7
林業	2	0.0	1	0.0	18	0.0
農業	130	0.3	220	0.6	664	0.5
漁業	40	0.1	43	0.1	142	0.1
第 2 次産業	5,781	12.9	4,906	13.6	12,244	9.7
鉱業、採石業、砂利採取業	9	0.0	9	0.0	22	0.0
建設業	3,673	8.2	3,338	9.3	7,356	5.8
製造業	2,099	4.7	1,559	4.3	4,866	3.9
第 3 次産業	36,730	81.7	29,268	81.1	107,615	85.5
電気・ガス・熱供給・水道業	300	0.7	254	0.7	641	0.5
情報通信業	1,559	3.5	1,154	3.2	5,078	4.0
運輸業、郵便業	2,252	5.0	1,502	4.2	6,680	5.3
卸売業、小売業	7,591	16.9	5,915	16.4	19,263	15.3
金融業、保険業	1,236	2.7	721	2.0	4,143	3.3
不動産業、物品賃貸業	1,186	2.6	914	2.5	4,343	3.5
学術研究、専門・技術サービス業	1,859	4.1	1,411	3.9	5,382	4.3
宿泊業、飲食サービス業	2,714	6.0	2,446	6.8	10,344	8.2
生活関連サービス業、娯楽業	1,511	3.4	1,377	3.8	4,406	3.5
教育、学習支援業	2,691	6.0	2,589	7.2	7,244	5.8
医療、福祉	7,039	15.7	5,578	15.5	17,349	13.8
複合サービス事業	282	0.6	250	0.7	963	0.8
サービス業 （他に分類されないもの）	4,313	9.6	3,496	9.7	12,146	9.7
公務（他に分類されるものを除く）	2,197	4.9	1,661	4.6	9,633	7.7
分類不能の産業	2,264	5.0	1,648	4.6	5,154	4.1

注：数値は、四捨五入した値のため、合計と総数の値は一致しない場合がある。

出典：第 67 回沖縄県統計年鑑（令和 6 年版）（沖縄県企画部統計課 HP）

(2) 生産品目及び生産額

1) 農林業

浦添市、宜野湾市及び那覇市の農家戸数、耕地面積、農業産出額は、表 3.2.3-2～表 3.2.3-4 に示すとおりである。

農家戸数は、浦添市、宜野湾市では、販売農家と自給的農家は同程度、那覇市では販売農家が自給的農家より多くなっている。

耕地面積は、浦添市及び那覇市ともに田は存在せず畑のみとなっており、両市とも 10ha 未満である。宜野湾市は、田が少し多く 19ha、畑が 14ha となっている。

農業産出額は、浦添市では 6,000 万円、宜野湾市では 6 億 4,000 万円、那覇市では 3 億 2,000 万円であり、分類別では 3 市ともに、畜産よりも耕種の産出額が多くなっている。

表 3.2.3-2 農家戸数

(令和 2 年 2 月 1 日現在)

市区	農家総数 (戸)	販売農家 (戸)	自給的農家 (戸)
浦添市	44	20	24
宜野湾市	64	32	32
那覇市	93	62	31

出典：第 67 回沖縄県統計年鑑（令和 6 年版）（沖縄県企画部統計課 HP）

表 3.2.3-3 耕地面積

(毎年 7 月 15 日現在)

市区	年次	総面積 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)
浦添市	平成 31(令和元)年	6	－	6
	令和 2 年	5	－	5
	令和 3 年	5	－	5
	令和 4 年	5	－	5
	令和 5 年	5	－	5
	令和 6 年	5	－	5
宜野湾市	平成 31(令和元)年	43	21	22
	令和 2 年	41	21	20
	令和 3 年	38	19	19
	令和 4 年	38	20	18
	令和 5 年	36	20	16
	令和 6 年	33	19	14
那覇市	平成 31(令和元)年	5	－	5
	令和 2 年	4	－	4
	令和 3 年	4	－	4
	令和 4 年	4	－	4
	令和 5 年	4	－	4
	令和 6 年	4	－	4

出典：第 48 次～第 53 次沖縄農林水産統計年報（令和 2 年 3 月～令和 7 年 4 月、内閣府沖縄総合事務局農林水産部統計調査課 HP）

表 3.2.3-4 農業産出額（令和5年）

分類		浦添市 (千万円)	宜野湾市 (千万円)	那覇市 (千万円)
耕種	米	-	-	-
	麦類	-	-	-
	雑穀	-	-	-
	豆類	-	0	-
	いも類	0	0	1
	野菜	0	57	20
	果実	2	1	5
	花き	X	2	X
	工芸農作物	1	0	2
	茶	-	-	-
	その他作物	X	-	X
	小計	5	60	30
畜産	肉用牛	1	0	2
	乳用牛	-	0	-
	生乳	-	0	-
	豚	-	X	X
	鶏	-	-	-
	鶏卵	-	-	-
	ブロイラー	-	-	-
	その他畜産物	0	X	X
	小計	1	4	2
加工農産物		0	0	0
合計		6	64	32

注：表中の「X」は秘匿数値、「-」は該当なし、「0」は単位未満の数値を示す。

出典：令和5年 市町村別農業産出額（推計）

（令和7年3月、農林水産省大臣官房統計部経営・構造統計課）

2) 水産業

浦添市、宜野湾市及び那覇市の漁業経営体数、海面漁業の漁業種別漁獲量、海面養殖業の漁業種別収穫量は、表 3.2.3-5～表 3.2.3-7 に示すとおりである。

漁業経営体数は、浦添市と那覇市では個人経営体が主となっており、宜野湾市では全てが個人経営体となっている。

海面漁業の漁業種別漁獲量は、沖縄県では、近海まぐろはえ縄の割合が高くなっている。平成 30 年のデータでは、浦添市、那覇市においては、近海まぐろはえ縄、沿岸まぐろはえ縄が多くを占めており、宜野湾市においては、沿岸いか釣り、近海まぐろはえ縄が多くを占めている。

海面養殖業の漁業種別収穫量は、沖縄県ではもずく類が最も多い。平成 30 年の結果では、浦添市、那覇市においては、その他の海藻類の収穫があり、宜野湾市においては、その他の魚類、その他の海藻類の収穫がある。

表 3.2.3-5 漁業経営体数（令和 5 年）

市区	総数	個人 経営体	個体経営体					小計
			会社	漁業 協同組合	漁業 生産組合	共同経営	その他	
浦添市	49	48	1	－	－	－	－	1
宜野湾市	68	68	－	－	－	－	－	－
那覇市	120	117	2	1	－	－	－	3

注：表中の「－」は該当なしを示す。

出典：第 53 次沖縄農林水産統計年報（令和 7 年 4 月、内閣府沖縄総合事務局農林水産部統計調査課）

表 3.2.3-6 海面漁業の漁業種別漁獲量

漁業種類	令和 5 年	平成 30 年		
	沖縄県 (t)	浦添市 (t)	宜野湾市 (t)	那覇市 (t)
その他の刺網	125	X	X	0
大型定置網	X	－	－	－
小型定置網	17	－	－	－
その他の網漁業	95	－	－	－
遠洋まぐろはえ縄	X	－	－	X
近海まぐろはえ縄	4,476	250	92	4,691
沿岸まぐろはえ縄	1,101	125	53	616
その他のはえ縄	68	0	X	X
近海かつお 1 本釣	－	－	－	－
沿岸かつお 1 本釣	357	－	－	X
沿岸いか釣り	1,729	84	174	140
ひき縄釣り	1,681	X	0	X
その他の釣り	1,825	9	11	218
採貝・採藻	－	－	－	X
その他の漁業	820	21	8	91
合計	12,418	490	338	5,788

注 1：表中の「X」は秘匿数値、「－」は該当なし、「0」は単位未満の数値を示す。

注 2：平成 30 年で市町村別統計が廃止となっており、平成 31(令和元)年度以降は沖縄県の数値のみとなっている。

出典：第 48 次沖縄農林水産統計年報(平成 30 年～令和元年)（令和 2 年 3 月、内閣府沖縄総合事務局農林水産部統計調査課）

第 53 次沖縄農林水産統計年報（令和 7 年 4 月、内閣府沖縄総合事務局農林水産部統計調査課）

表 3.2.3-7 海面養殖業の漁業種別収穫量

養殖業種類	令和 5 年	平成 30 年		
	沖縄県 (t)	浦添市 (t)	宜野湾市 (t)	那覇市 (t)
まだい	4	－	－	－
くろまぐろ	X	－	－	－
その他の魚類	266	－	X	－
貝類	1	－	－	－
くるまえば	469	－	－	－
その他の水産動物類	X	－	－	－
のり類	106	－	－	－
もずく類	20,084	－	－	－
その他の海藻類	390	X	X	X
真珠	X	－	－	－
合計	21,728	X	X	X

注1：表中の「X」は秘匿数値、「－」は該当なしを示す。

注2：平成30年で市町村別統計が廃止となっており、平成31(令和元)年度以降は沖縄県の数値のみとなっている。

出典：第48次沖縄農林水産統計年報(平成30年～令和元年)(令和2年3月、内閣府沖縄総合事務局農林水産部統計調査課)

第53次沖縄農林水産統計年報(令和7年4月、内閣府沖縄総合事務局農林水産部統計調査課)

3) 製造業

浦添市、宜野湾市及び那覇市の製造業の状況は、表 3.2.3-8 に示すとおりである。

事業所数、従業者数は、3 市ともに食料品製造業が最も多い。

製造品出荷額等は、3 市ともに食料品製造業が最も多く、次いで浦添市、那覇市では飲料・たばこ・飼料製造業、宜野湾市では窯業・土石製品製造業が多い。

表 3.2.3-8 製造業の状況（令和 4 年）

産業中分類	浦添市			宜野湾市			那覇市		
	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品 出荷額等 (万円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品 出荷額等 (万円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品 出荷額等 (万円)
食料品製造業	25	1,563	3,136,896	9	453	556,483	27	1,189	1,753,771
飲料・たばこ・飼料製造業	6	373	1,469,690	2	8	X	4	112	268,336
繊維工業	-	-	-	3	87	46,959	11	106	75,464
木材・木製品製造業 (家具・装備品を除く)	1	11	X	-	-	-	1	5	X
家具・装備品製造業	3	39	46,938	-	-	-	2	18	X
パルプ・紙・紙加工品製造業	1	1	X	-	-	-	-	-	-
印刷・同関連業	8	95	122,703	3	39	35,145	15	196	159,621
化学工業	-	-	-	1	7	X	3	23	8,982
プラスチック製品製造業 (別掲を除く)	1	5	X	-	-	-	1	15	X
窯業・土石製品製造業	6	105	467,454	3	56	138,541	5	93	203,066
鉄鋼業	1	128	X	-	-	-	-	-	-
非鉄金属製造業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
金属製品製造業	5	81	49,095	2	71	X	4	21	198,973
業務用機械器具製造業	-	-	-	-	-	-	3	15	18,817
電気機械器具製造業	1	54	X	-	-	-	-	-	-
情報通信機械器具製造業	-	-	-	-	-	-	1	12	X
輸送用機械器具製造業	2	13	X	-	-	-	2	20	X
その他の製造業	6	80	84,836	2	27	X	10	130	150,092
合計	66	2,548	5,903,343	25	748	846,897	89	1,955	2,922,830

注 1：事業所数、従業者数については令和 4（2022）年 6 月 1 日現在、製造品出荷額等については令和 3（2021）年 1 月～令和 3（2021）年 12 月の実績により調査している。

注 2：「-」は該当値なし

注 3：「X」は、集計対象となる事業所が 1 又は 2 であるため、これをそのまま掲げると個々の報告者の秘密が漏れるおそれがあるため秘匿した箇所である。また、集計対象が 3 以上の事業所に関する数値であっても、集計対象が 1 又は 2 の事業所の数値が合計との差し引きで判明する箇所は、併せて「X」とした。

出典：2022 年経済構造実態調査（製造事業所調査）（令和 6 年 1 月、総務省統計局統計調査部経済統計課）

4) 商業

浦添市、宜野湾市及び那覇市の商業の状況は、表 3.2.3-9 に示すとおりである。

事業所数は、3 市ともにその他の小売業が最も多い。

従業者数は、浦添市では飲食料品卸売業、飲食料品小売業が多い。宜野湾市と那覇市では、飲食料品小売業、その他の小売業が多い。

年間商品販売額は、浦添市では飲食料品卸売業が最も多く、次いでその他の卸売業が多い。宜野湾市では機械器具卸売業が最も多く、次いで飲食料品小売業が多い。那覇市では建築材料、鉱物・金属材料等卸売業が最も多く、次いで、機械器具卸売業が多い。

表 3.2.3-9 商業の状況（令和 3 年）

（令和 3 年 6 月 1 日現在）

産業分類	浦添市			宜野湾市			那覇市		
	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	年間商品販売額 (百万円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	年間商品販売額 (百万円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	年間商品販売額 (百万円)
卸売業計	347	6,649	403,643	153	2,039	111,116	753	6,416	523,424
各種商品卸売業	3	107	6,638	1	2	X	6	54	6,376
繊維・衣服等卸売業	8	49	1,157	5	20	567	39	145	2,207
飲食料品卸売業	101	3,028	193,164	26	716	23,212	181	1,893	129,907
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	44	1,135	60,408	39	319	15,712	126	912	147,834
機械器具卸売業	111	1,324	68,066	39	485	27,592	202	1,923	142,377
その他の卸売業	80	1,006	74,210	43	497	X	199	1,489	94,724
小売業計	711	7,617	160,053	585	4,256	76,102	2,414	16,931	303,439
各種商品小売業	2	429	X	5	360	9,320	10	1,354	36,895
織物・衣服・身の回り品小売業	123	600	7,707	71	240	2,716	434	1,534	18,155
飲食料品小売業	198	2,876	42,243	142	1,793	25,442	784	7,285	97,208
機械器具小売業	104	1,245	45,287	127	449	10,092	212	1,211	54,671
その他の小売業	245	1,860	X	218	1,148	17,103	897	4,847	78,743
無店舗小売業	39	607	13,123	22	266	11,429	77	700	17,768
合計	1,058	14,266	563,696	738	6,295	187,218	3,167	23,347	826,864

注 1：管理、補助的経済活動のみを行う事業所、産業細分類が格付不能の法人組織の事業所又は産業小分類が格付不能の個人経営（法人でない団体を含む）の事業所、卸売の商品販売額（仲立手数料を除く）、小売の商品販売額及び仲立手数料のいずれの金額も無い法人組織の事業所は含まない。

注 2：従業者数とは、「個人業主」、「無給家族従業者」、「有給役員」及び「常用雇用者」の計であり「臨時雇用者」は含めていない。

出典：令和 3 年経済センサス-活動調査（令和 5 年 3 月、総務省統計局統計調査部経済統計課）

5) 観光

沖縄県の入域観光客の推移は、表 3.2.3-10 に示すとおりである。

沖縄県の入域観光客は、平成 31（令和元）年度後半に新型コロナウイルス感染症の影響により減少に転じ、令和 2 年度は過去最大の減少率となった。また、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響から、航空路線の運休やクルーズ船の運航停止、外国からの入国制限措置がとられたことにより外国人観光客数は 0 人となった。令和 3 年度も、令和 2 年度に引き続き外国人観光客数は 0 人となったが、国内観光客数が微増したために、対前年度比は、3 年ぶりに増加に転じた。令和 4 年度には新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が緩和されたことから、増加数・増加率ともに過去最高となった。

令和 6 年度は、令和 5 年度に続き増加数・増加率は増加傾向を維持し、令和 6 年度の入域観光客数は平成 31（令和元）年度と同水準まで回復し、国内観光客数は、過去最高を記録した。また、外国人観光客数も、段階的に回復しており増加傾向を示している。

「浦添市観光振興計画」（2018 年 3 月）によると、浦添市の主要観光施設として国立劇場おきなわ、浦添市美術館、イベント等として、浦添てだこまつり、東京ヤクルトスワローズ春季キャンプ、沖展、てだこウォークがあげられている。

表 3.2.3-10 沖縄県の入域観光客の推移

年	国内観光客 (人)	外国人観光客 (人)	合計 (人)	前年比伸び率 (%)
平成 31 年度 (令和元年度)	6,978,800	2,490,400	9,469,200	-5.3
令和 2 年度	2,583,600	0	2,583,600	-72.7
令和 3 年度	3,274,300	0	3,274,300	+26.7
令和 4 年度	6,574,500	200,100	6,774,600	+106.9
令和 5 年度	7,269,100	1,263,500	8,532,600	+25.9
令和 6 年度	7,661,200	2,291,500	9,952,700	+16.6

出典：令和元年度～令和 6 年度沖縄県入域観光客統計概況
(沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課 HP)

3.2.4 土地利用

(1) 土地利用状況

浦添市、宜野湾市及び那覇市の利用区分別土地利用面積は、表 3.2.4-1 に示すとおりである。

3 市ともに宅地の占める割合が多く、浦添市では 61.4%、宜野湾市では 49.1%、那覇市では 73.7%となっている。

対象地域における土地利用状況は、図 3.2.4-1 に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周辺の主な土地利用状況については、防衛施設（牧港補給地区）、商業地区、業務地区、運輸流通施設、供給処理施設、工業地区となっている。国道 58 号より東側の主な土地利用については、商業地区、文教地区と住宅地域となっている。

表 3.2.4-1 利用区分別土地利用面積

(令和 5 年 1 月 1 日現在)

市区	単位	総数	田	畑	宅地	山林	原野	その他
浦添市	面積 (ha)	1,190.7	－	38.8	730.8	－	63.1	358.0
	割合 (%)	100.0	－	3.3	61.4	－	5.3	30.1
宜野湾市	面積 (ha)	1,360.0	22.3	38.6	668.0	－	31.9	599.3
	割合 (%)	100.0	1.6	2.8	49.1	－	2.3	44.1
那覇市	面積 (ha)	2,180.6	－	12.9	1,607.7	5.0	16.7	538.3
	割合 (%)	100.0	－	0.6	73.7	0.2	0.8	24.7

注 1：国や地方公共団体の所有地等の非課税地積は含まれていない。

注 2：数値は四捨五入した値のため、合計と総数の値は一致しない場合がある。

出典：第 67 回沖縄県統計年鑑（令和 6 年版）（沖縄県企画部統計課 HP）

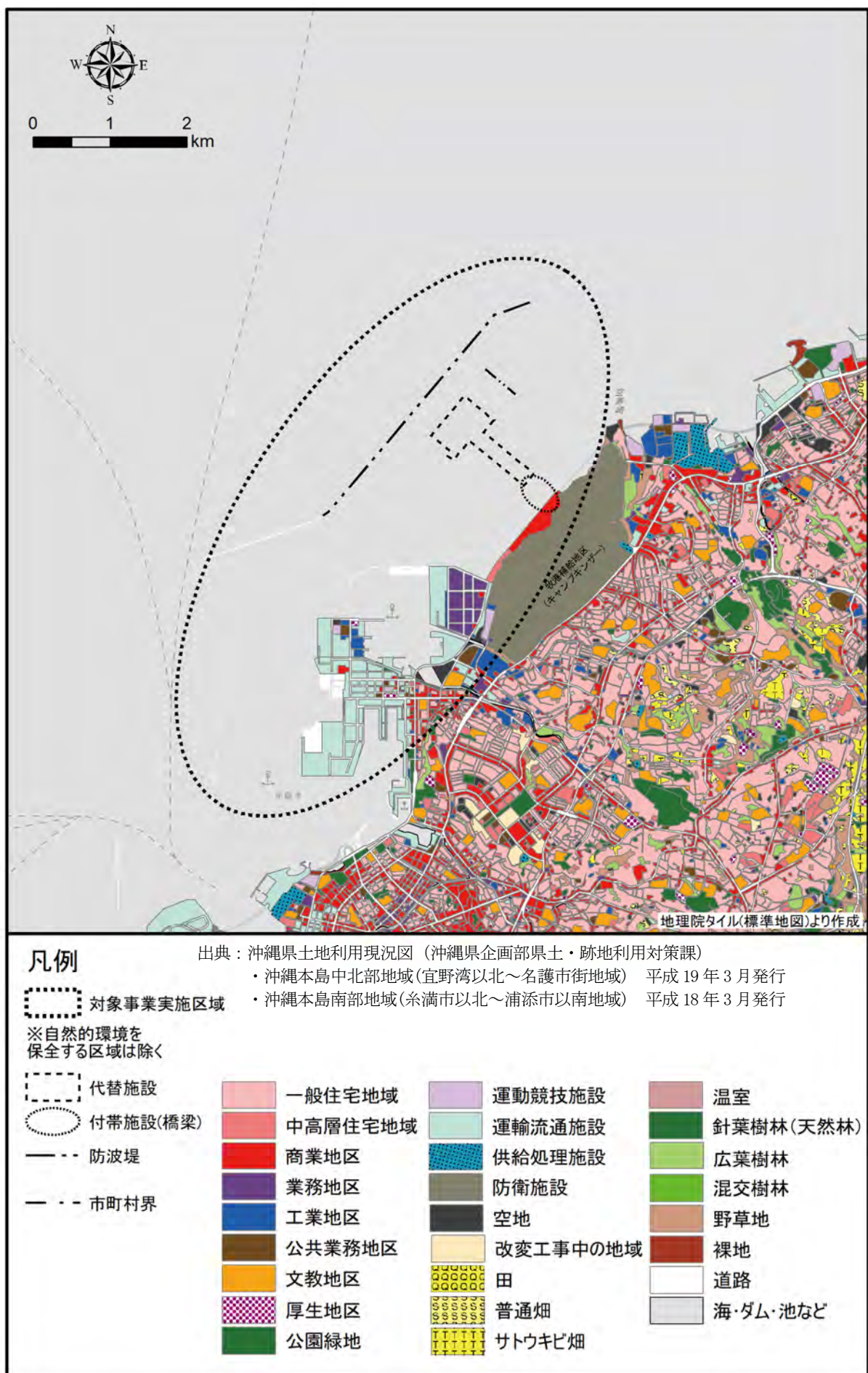


図 3.2.4-1 土地利用状況図

(2) 用途地域の指定状況

浦添市、宜野湾市及び那覇市における用途地域の指定状況は、表 3.2.4-2、対象地域における用途地域の指定状況は、図 3.2.4-2 に示すとおりである。

用途地域は、3 市ともに住居系が最も多く、約 75%～約 80%を占めている。

対象事業実施区域の一部の区域は、商業地域、第二種中高層住居専用地域及び準工業地域に指定されている。なお、対象事業実施区域と国道 58 号とにある牧港補給地区は用途地域の指定はない。

表 3.2.4-2 用途地域の指定状況

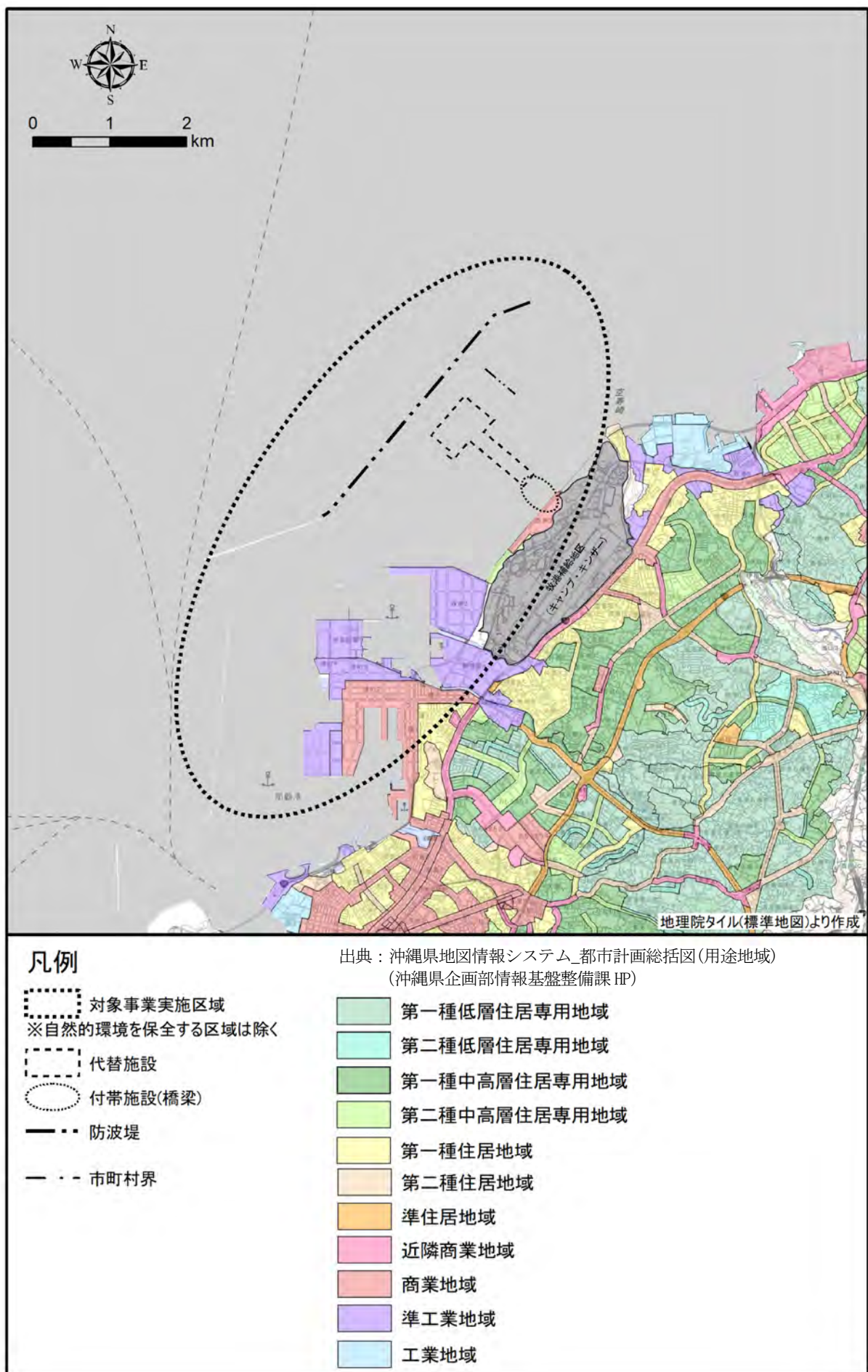
(令和 5 年 3 月 31 日現在)

地域区分		浦添市		宜野湾市		那覇市	
		面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)
住居系	第一種低層住居専用地域	299.6	19.7	393.2	28.1	959.4	29.5
	第二種低層住居専用地域	73.3	4.8	0.0	0.0	59.3	1.8
	第一種中高層住居専用地域	341.0	22.4	351.3	25.1	625.9	19.3
	第二種中高層住居専用地域	57.1	3.8	115.9	8.3	170.9	5.3
	第一種住居地域	240.8	15.8	168.4	12.0	367.6	11.3
	第二種住居地域	98.3	6.5	30.2	2.2	155.9	4.8
	準住居地域	36.2	2.4	65.9	4.7	129.0	4.0
	小計	1,146.3	75.3	1,124.9	80.3	2,468.0	75.9
商業系	近隣商業地域	35.5	2.3	130.1	9.3	140.8	4.3
	商業地域	73.2	4.8	65.3	4.7	426.3	13.1
	小計	108.7	7.1	195.4	13.9	567.1	17.4
工業系	準工業地域	207.3	13.6	81.0	5.8	184.4	5.7
	工業地域	59.2	3.9	0.0	0.0	31.4	1.0
	工業専用地域	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小計	266.5	17.5	81.0	5.8	215.8	6.6
合計		1,521.5	100.0	1,401.3	100.0	3,250.9	100.0

注 1：都市計画区域名は那覇広域都市計画区域である。

注 2：個別の割合は四捨五入した値のため、割合の総計と合計の値が一致しない場合がある。

出典：沖縄県土地利用規制現況図 説明書（令和 7 年 3 月、沖縄県）



出典：沖縄県地図情報システム_都市計画総括図(用途地域)
(沖縄県企画部情報基盤整備課 HP)

図 3.2.4-2 用途地域の指定状況

(3) 土地利用基本計画

対象地域における土地利用基本計画は、図 3.2.4-3 に示すとおりである。

土地利用基本計画では対象地域全域が都市地域となっており、一部が森林地域となっている。また、全域が都市計画区域であり、市街化区域と市街化調整区域に区分されている。

対象事業実施区域の一部の区域は、市街化区域と市街化調整区域に区分されている。牧港補給地区は市街化調整区域に区分されている。

(4) 市街地、集落の規模及び分布状況

対象地域における人口集中地区は、図 3.2.4-4 に示すとおりである。

港湾区域、牧港補給地区及び一部地域を除いた広い範囲が人口集中地区（DID 地区）となっている。

(5) 基地の分布状況

浦添市、宜野湾市及び那覇市の米軍施設・区域及び自衛隊の施設の状況は、表 3.2.4-3 に示すとおりである。

浦添市には米軍施設・区域が存在し、自衛隊の施設は存在していない。浦添市の面積に占める米軍施設・区域面積の割合は 13.8%となっている。

宜野湾市には米軍施設・区域が存在し、自衛隊の施設は存在していない。宜野湾市の面積に占める米軍施設・区域面積の割合は 29.4%となっている。

那覇市には米軍施設・区域と自衛隊の施設が存在する。那覇市の面積に占める米軍施設・区域面積の割合は 1.4%、自衛隊の施設面積の割合は 8.2%となっている。

表 3.2.4-3 米軍施設・区域及び自衛隊の施設の状況

市区等	市町村面積		米軍施設・区域面積		自衛隊の施設面積	
	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)
浦添市	1,944	100.0	267.5	13.8	—	—
宜野湾市	1,980	100.0	582.0	29.4	—	—
那覇市	4,146	100.0	57.1	1.4	341.6	8.2
沖縄県	228,209	100.0	18,668.2	8.2	811.1	0.4

注1：表中の「—」は該当なしを示す。

注2：市町村面積は、国土地理院の資料(令和5年10月1日現在)による。

注3：施設面積は、沖縄防衛局の資料(令和6年1月1日現在)による。

出典：沖縄の米軍及び自衛隊基地(統計資料集)(令和7年4月、沖縄県知事公室基地対策課)

在日米軍施設・区域(専用施設)面積(令和6年1月1日現在)(防衛省・自衛隊HP)

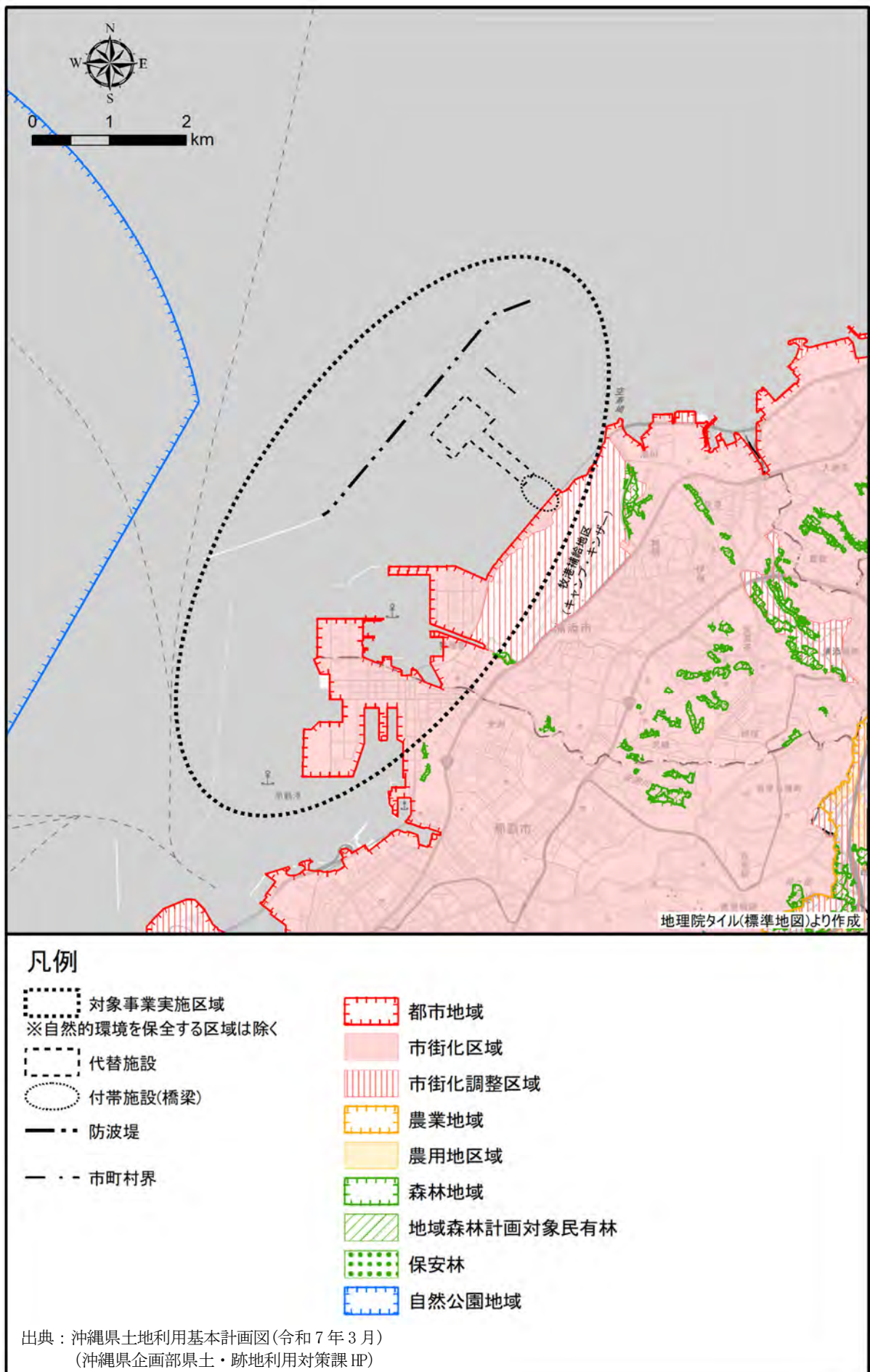


図 3.2.4-3 土地利用基本計画図

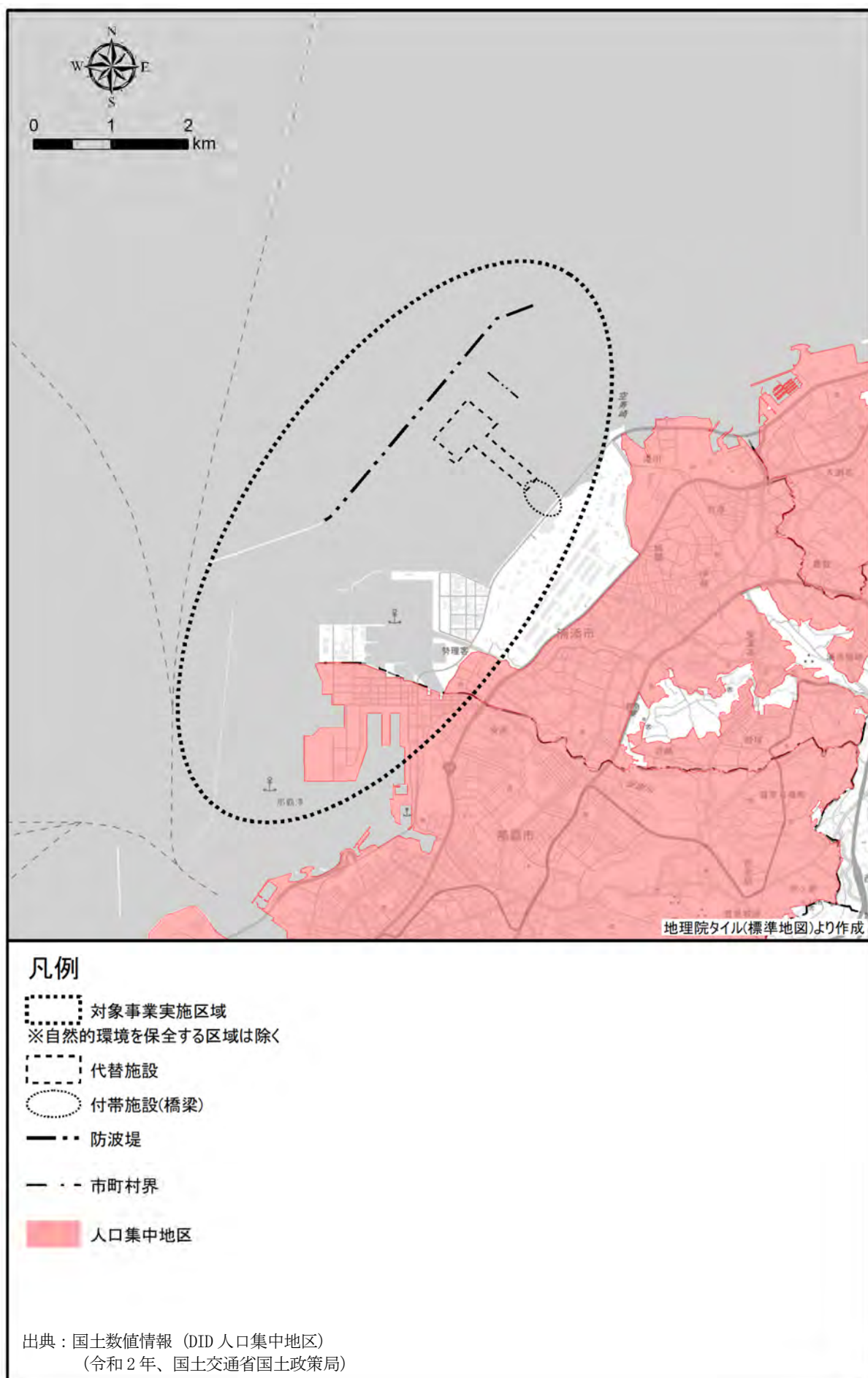


図 3.2.4-4 人口集中地区の分布状況

3.2.5 河川、湖沼及び海域の利用並びに地下水の利用

(1) 河川の利用状況

対象地域を流れる主要な河川を表 3.2.5-1 及び図 3.2.5-1 に示す。

対象地域には二級河川が 8 河川存在する。

表 3.2.5-1 主要な河川の概要

指定状況	地域	水系名	河川名	指定延長 (m)	流域面積 (km ²)
二級河川	浦添市	牧港川	牧港川	3,300	15.17
		小湾川	小湾川	4,300	4.83
	宜野湾市	牧港川	宇地泊川	6,000	8.05
	那覇市	安里川	潮渡川	1,000	0.50
			久茂地川	2,000	3.25
			真嘉比川	1,400	2.30
			安里川	7,260	8.57
		安謝川	安謝川	5,200	8.10

出典：令和 6 年度沖縄県水防計画（沖縄県土木建築部海岸防災課 HP）

(2) 海域の利用状況

1) 港湾、漁港区域

港湾区域の指定状況は、表 3.2.5-2 及び図 3.2.5-2 に示すとおりであり、対象地域においては、重要港湾に指定されている那覇港、地方港湾の宜野湾港が存在する。

また、漁港区域の状況は、表 3.2.5-3 及び図 3.2.5-2 に示すとおりであり、対象地域においては、3 つの漁港が存在する。

表 3.2.5-2 港湾区域の指定状況

港湾名	指定	管理者	所在地	面積 (ha)	指定年月日
那覇港	重要港湾	那覇港 管理組合	那覇市・浦添市	3,400	昭和 47 年 5 月 15 日 (重要港湾指定)
宜野湾港	地方港湾	沖縄県	宜野湾市	58	昭和 59 年 3 月 9 日

出典：沖縄の港湾（沖縄県土木建築部港湾課 HP）

表 3.2.5-3 漁港区域の指定状況

漁港名	所在地	指定年月日	管理者
牧港漁港	浦添市	昭和 52 年 3 月 31 日	浦添市
宜野湾漁港	宜野湾市	昭和 63 年 3 月 31 日	沖縄県
泊漁港	那覇市	昭和 42 年 10 月 6 日	沖縄県

出典：県管理漁港一覧表（令和 6 年 1 月 11 日更新）（沖縄県農林水産部漁港漁場課 HP）

市町村管理漁港一覧表（令和 6 年 1 月 11 日更新）（沖縄県農林水産部漁港漁場課 HP）

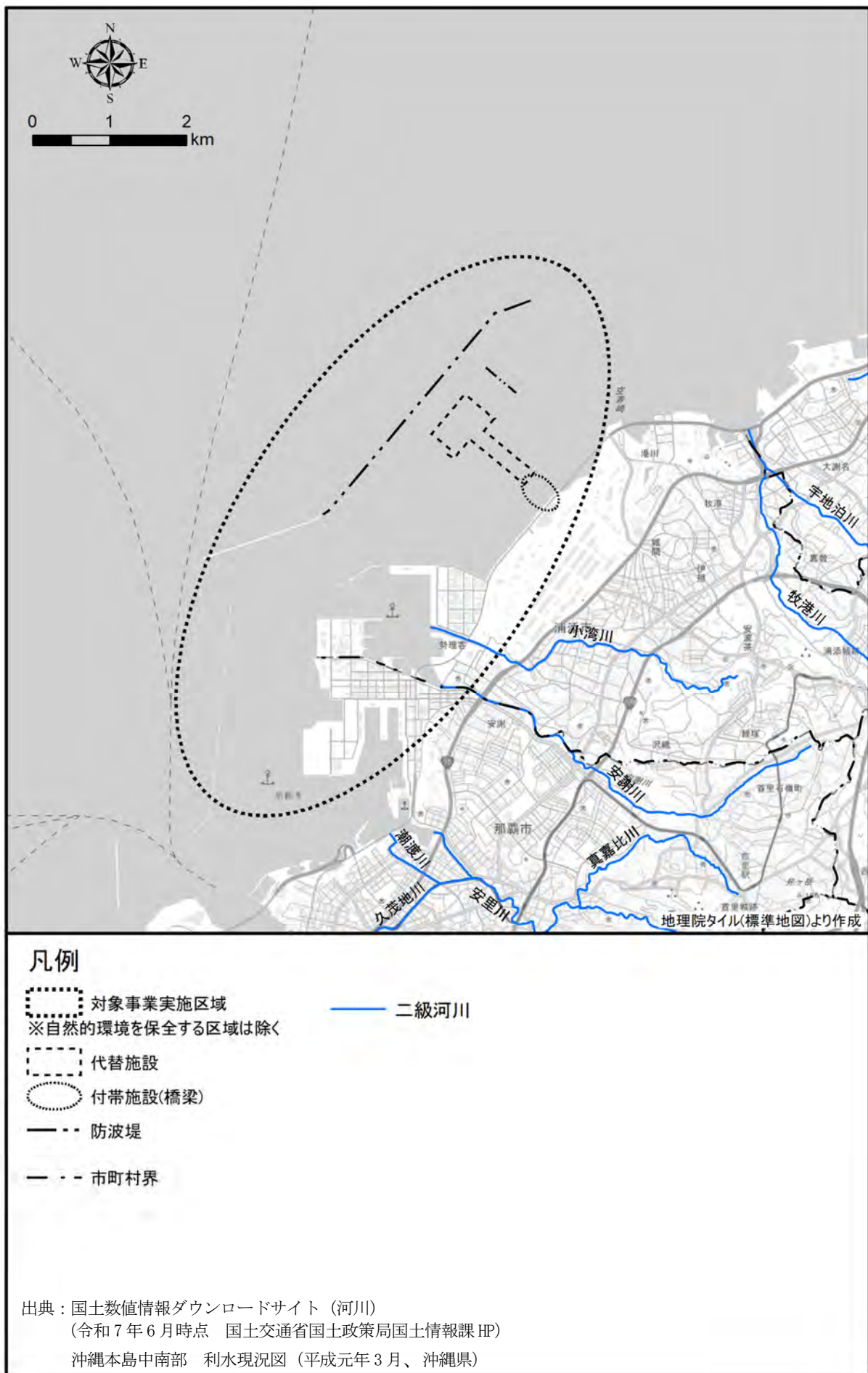
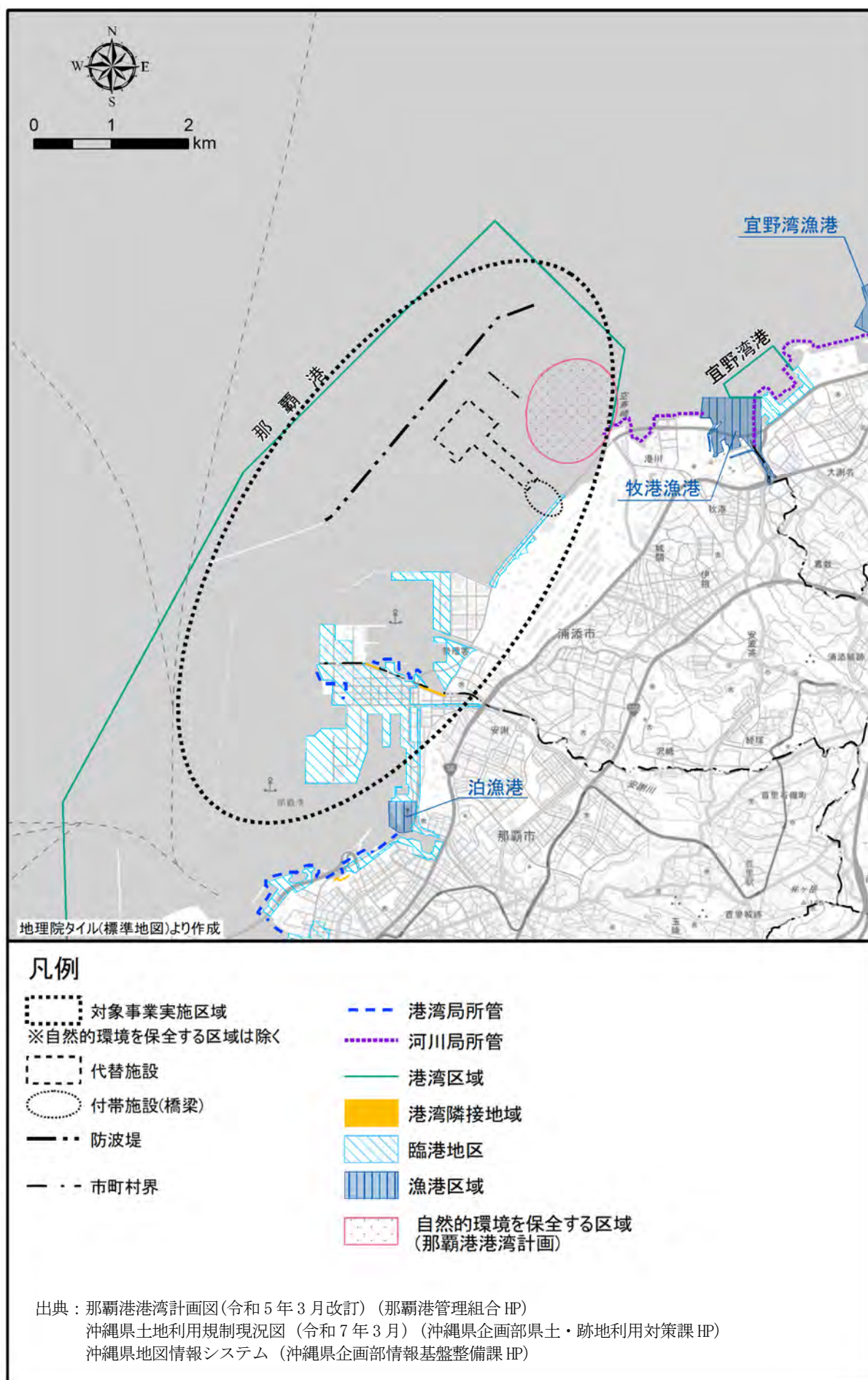


図 3.2.5-1 河川の分布状況



2) 漁業区域

対象地域の漁業権の設定状況は、表 3.2.5-4 及び図 3.2.5-3 に示すとおりである。

対象地域においては浦添宜野湾漁業協同組合、那覇地区漁業協同組合及び那覇市沿岸漁業協同組合を漁業権者とする共同漁業権の共同第 15 号が設定されている。

表 3.2.5-4 漁業権の免許の状況

(令和 5 年 9 月 1 日免許交付)

漁業権番号	漁業権者	漁業の名称	漁場の位置
共同第 15 号	浦添宜野湾漁業協同組合 那覇地区漁業協同組合 那覇市沿岸漁業協同組合	ウニ漁業	宜野湾市と北谷町との境界線から 那覇市と豊見城市との境界線により 囲まれた沿岸水域
		イセエビ漁業	
		セミエビ漁業	
		ゾウリエビ漁業	
		ナマコ漁業	
		タコ漁業	
		シャコガイ漁業	
		ヒロセガイ漁業	
		タカセガイ漁業	
		ヤコウガイ漁業	
		マガキガイ漁業	
		サザエ漁業	
		固定式刺網漁業	
		かご網漁業	

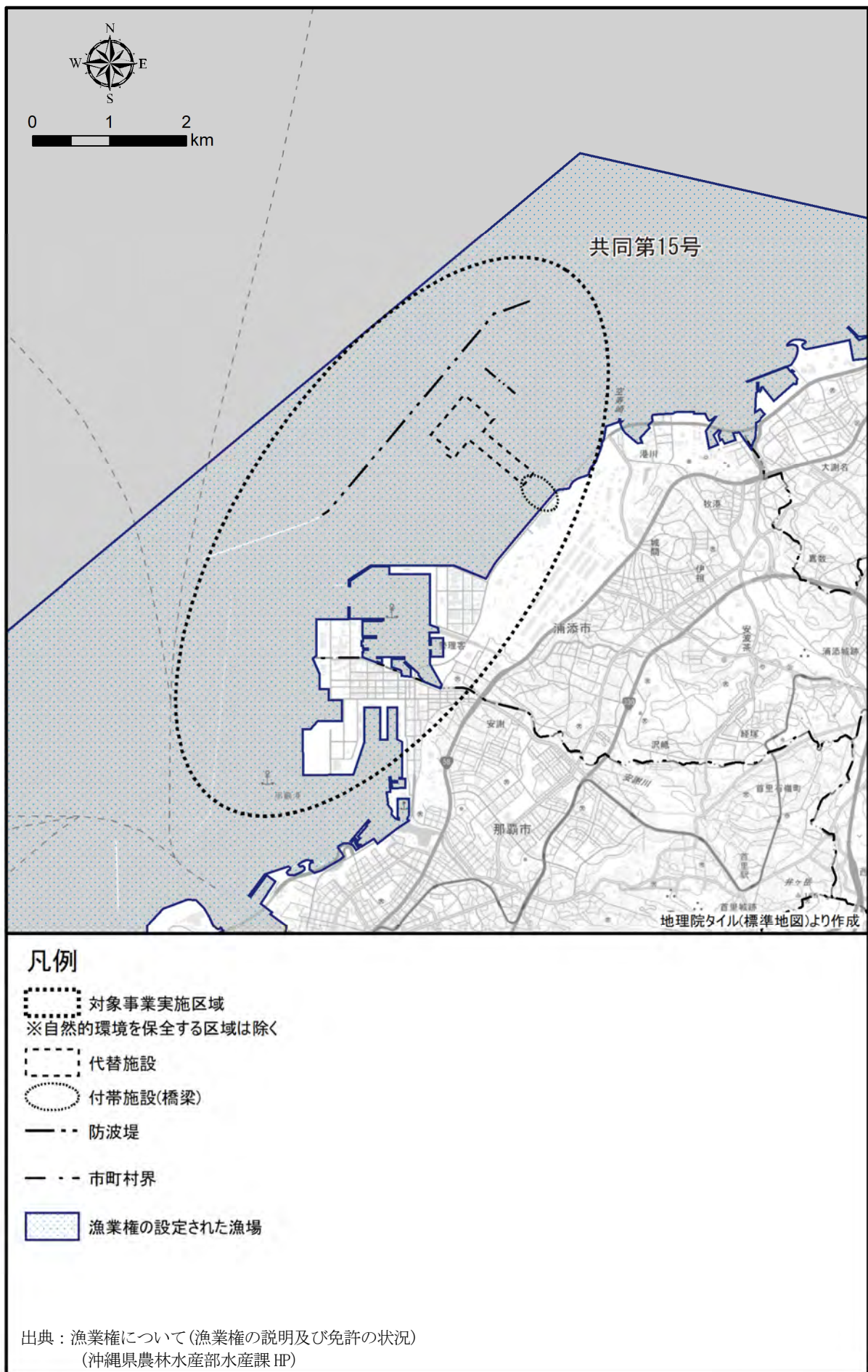
備考：漁業権存続期間 令和 5 年 9 月 1 日から令和 15 年 8 月 31 日まで。

出典：漁業権について(漁業権の説明及び免許の状況)(沖縄県農林水産部水産課 HP)

3) 自然的環境を保全する区域

対象地域には、図 3.2.5-2 に示すとおり、「那覇港港湾計画書-改訂-」(令和 5 年 3 月 那覇港港湾管理者那覇港管理組合)において計画された自然的環境を保全する区域が存在する。

この区域は、浦添ふ頭地区の北側海域及び自然海浜において、人と自然が共生する良好な港湾環境の形成を図るため、計画されている。



(3) 上水の利用状況

浦添市、宜野湾市及び那覇市の水道事業の概要は、表 3.2.5-5 に示すとおりである。

浦添市においては、給水人口が 114,825 人、普及率が 100%、給水量（受水量・配水量）が約 1,360 万 m³、一日最大配水量が 38,054m³となっている。

宜野湾市においては、給水人口が 100,009 人、普及率が 100%、給水量（受水量・配水量）が約 1,105 万 m³、一日最大配水量が 37,388m³となっている。

那覇市においては、給水人口が約 310,431 人、普及率が 100%、給水量（受水量・配水量）が約 3,757 万 m³、一日最大配水量が約 110,915m³となっている。

対象地域の配水区（配水系統）は、表 3.2.5-6 及び図 3.2.5-4 に示すとおりであり、対象事業実施区域内の一部分は、沢岬配水区、又は泊配水池系にかかる。

表 3.2.5-5 水道事業の概要

項 目	浦添市	宜野湾市	那覇市
	令和 5 年度	令和 5 年度	令和 5 年度
行政区域内人口(人)	114,825	100,009	310,431
給水人口(人)	114,825	100,009	310,431
普及率(%)	100.0	100.0	100.0
給水戸数(戸)	53,308	—	169,790
給水量(受水量・配水量)(m ³)	13,601,107	11,055,763	37,579,021
一日最大配水量(m ³)	38,054	37,388	110,915
有収水量(m ³)	12,916,404	10,670,619	35,935,890
無収水量(m ³)	684,703	133,049	788,086
有収率(%)	94.97	96.52	95.63

注1：有収水量とは、浄水場でつくられた水道水のうち、水道料金の対象になった分の水量を示す。

注2：無収水量とは、料金徴収の対象とならないが、有効に利用された水量（管洗浄、消火栓など）。

「無収水量」＝「有効水量」－「有収水量」

注3：有収率とは、配水する水量と料金として収入のあった水量との比率で、算出式は以下のとおりとなる。

「計画有収率」＝「計画1日平均有効有収水量」÷「計画1日平均配水量」

出典：統計うらそえ第56号令和5年版（浦添市企画部企画課HP）

令和5年度水道事業統計年報（令和7年3月、浦添市上下水道部）

令和5年度水道事業統計年報（令和6年9月、宜野湾市上下水道部）

上下水道局事業概要 令和5年度（那覇市上下水道局HP）

表 3.2.5-6 対象地域の配水区（配水系統）一覧

市	配水区	市	配水区
浦添市	沢岬配水区	那覇市	前田第2調整池系
	浦仲配水区		新川配水池系
	前田配水区		真地配水池系
宜野湾市	長田第2配水池給水区域		上間調整池系
	喜友名配水池給水区域		大名調整池系
	大山配水池給水区域		安里配水池系
			泊配水池系

※浦添市の配水池の区域図は、「平成30年度水道事業統計年報（令和2年3月、浦添市水道部）」の資料を参照

出典：平成30年度水道事業統計年報（令和2年3月、浦添市水道部）

令和5年度水道事業統計年報（令和7年3月、浦添市上下水道部）

令和5年度水道事業統計年報（令和6年9月、宜野湾市上下水道局）

上下水道局事業概要 令和5年度（那覇市上下水道局HP）

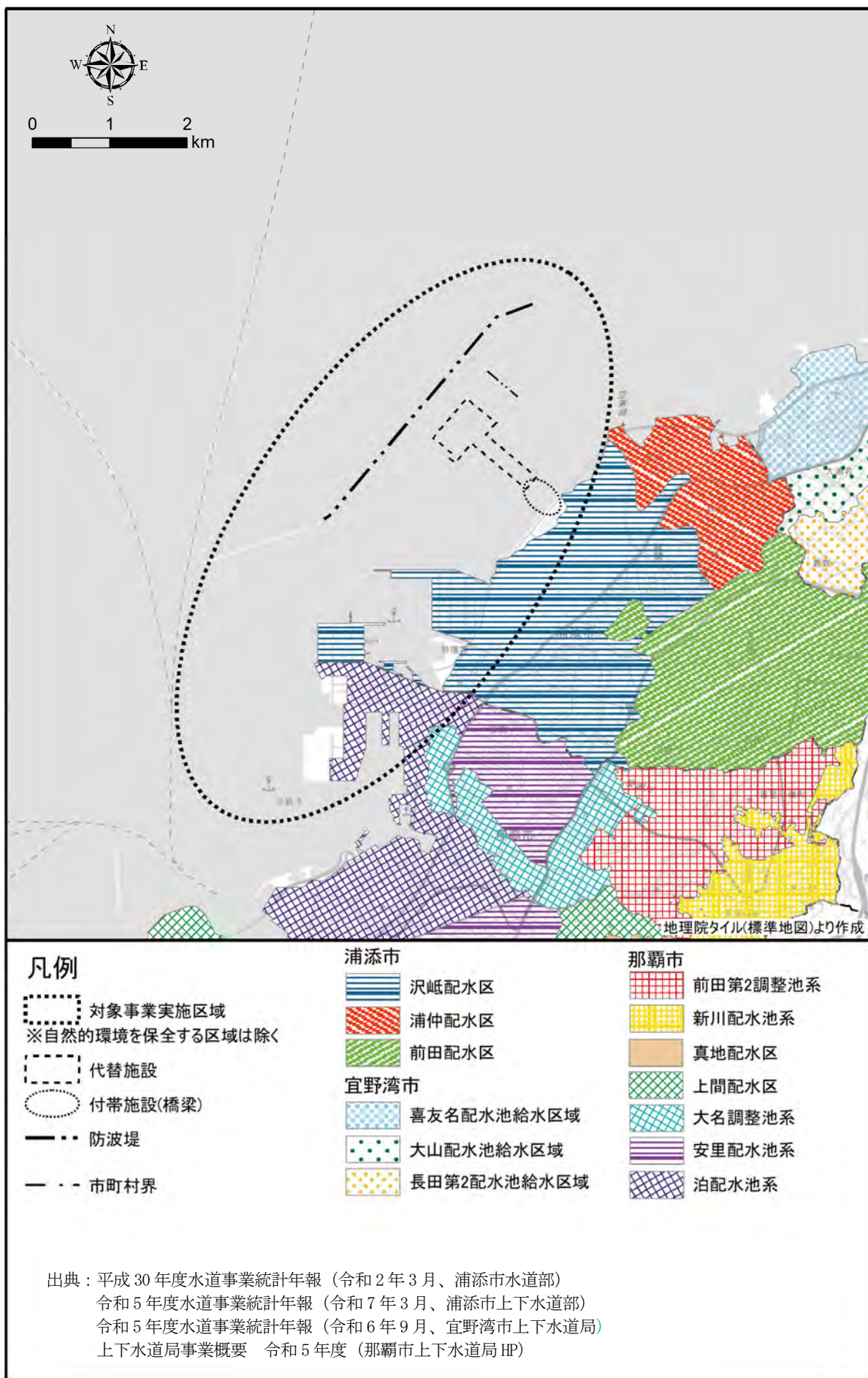


図 3.2.5-4 配水区域図

(4) 地下水の利用状況

対象地域の主要な井戸と湧水による地下水の状況は表 3.2.5-7 及び図 3.2.5-5 に示すとおりである。

対象地域には、農業用井戸が 11 件、工業用井戸が 11 件、農業用湧水が 6 件、及びその他用湧水が 20 件分布している。

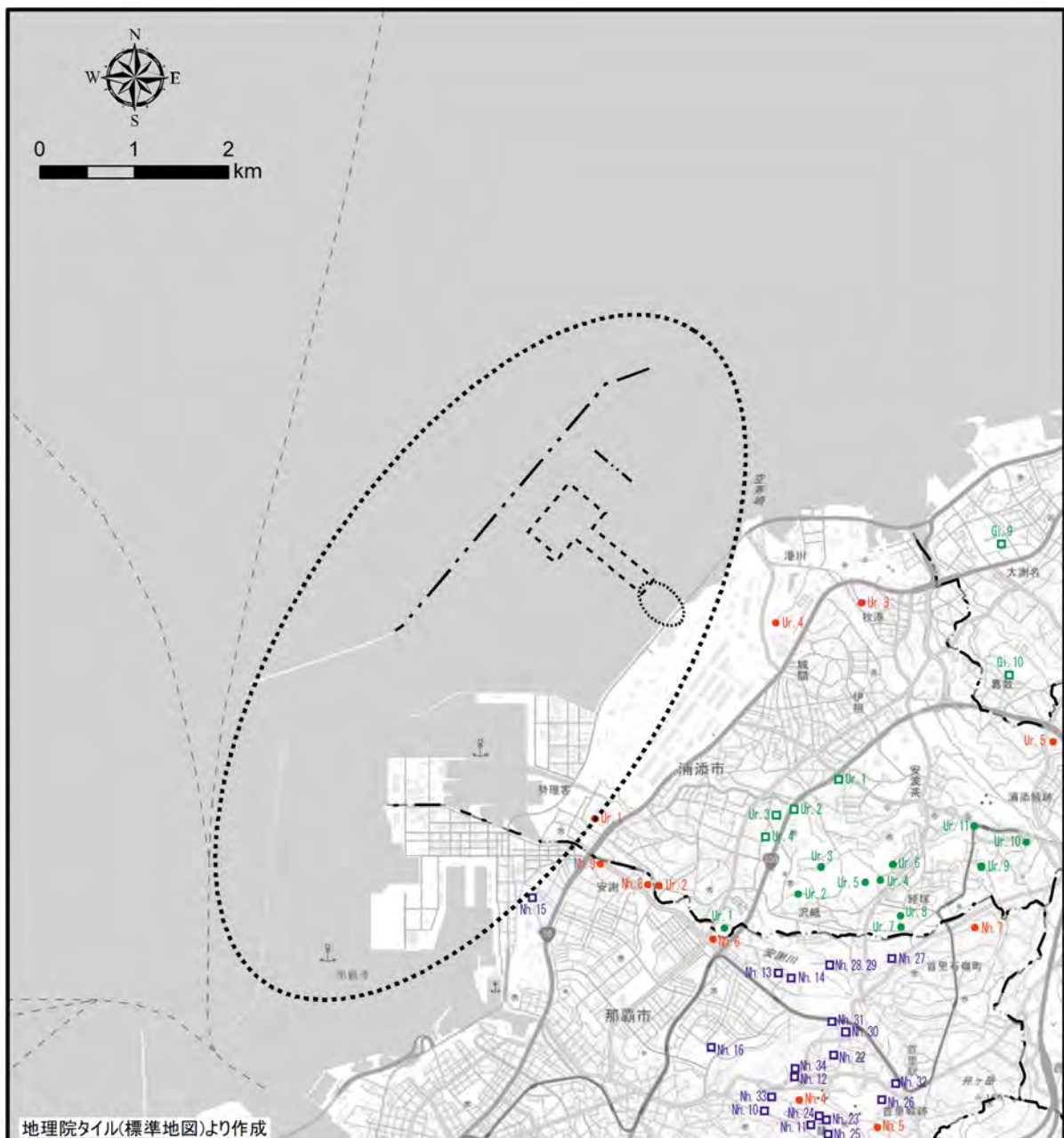
なお、対象事業実施区域には、工業用井戸が 1 件分布している。

表 3.2.5-7 井戸及び湧水の状況

市区	主要井戸（件）				主要湧水（件）			
	農業用	水道用	工業用	その他用	農業用	水道用	工業用	その他用
浦添市	11	－	5	－	4	－	－	－
宜野湾市	－	－	－	－	2	－	－	－
那覇市	－	－	6	－	－	－	－	20
合計	11	－	11	－	6	－	－	20

注：表中の－は該当なしを示す。

出典：沖縄県主要水系調査書（沖縄本島中南部地域）（平成元年 3 月、沖縄県企画開発部土地利用対策課）



凡例

対象事業実施区域
※自然的環境を保全する区域は除く

代替施設

付帯施設(橋梁)

防波堤

市町村界

注：図中の番号は、出典資料より引用。

主要井戸

● 農業用井戸

● 工業用井戸

主要湧水

□ 農業用湧水

□ その他用湧水

出典：沖縄県主要水系調査書（沖縄本島中南部地域）
（平成元年 3 月、沖縄県企画開発部土地利用対策課）

図 3.2.5-5 井戸及び湧水の分布状況

3.2.6 交通

(1) 道路の整備状況

対象地域の主要な道路の整備状況は、図 3.2.6-1 に示すとおりである。

南北方向に一般国道 58 号と一般国道 330 号が並行しており、これらの国道を基軸として、東西方向に県道 38 号浦添西原線及び県道 82 号那覇糸満線が、国道に並行して県道 25 1 号那覇宜野湾線が走っている。那覇港浦添ふ頭地区臨港道路浦添線は海岸線に沿って南北方向に走っており、対象事業実施区域に近接している。

(2) 自動車交通量

対象地域に分布する道路における自動車交通量の状況は表 3.2.6-1 に示すとおりである。

対象地域を通る一般国道 58 号では、*51,571*～*64,508* 台/24h、一般国道 330 号では *33,049*～*70,296* 台/24h となっている（斜体で示した交通量は推計値である。）。

表 3.2.6-1(1) 自動車交通量

番号	路線名	交通量観測 地点地名	24 時間自動車類交通量 (上下合計) (台)
1	一般国道 58 号	宜野湾市大謝名	57,465
2		浦添市城間	<i>57,324</i>
3		浦添市屋富祖	<i>51,571</i>
4		那覇市天久	64,508
5		那覇市旭町	<i>53,639</i>
6	一般国道 58 号 (宜野湾バイパス)	宜野湾市大山	50,810
7	一般国道 58 号 (那覇西道路)	那覇市鏡水	<i>26,496</i>
8	一般国道 58 号 (浦添北道路)	浦添市港川	<i>31,425</i>
9	一般国道 330 号	浦添市仲間	<i>70,296</i>
10		浦添市沢岨	<i>63,611</i>
11		那覇市真嘉比	<i>42,864</i>
12		那覇市寄宮	<i>33,049</i>
13	県道 29 号線那覇北中城線	那覇市安里	16,879
14		那覇市安里	23,665
15		那覇市松川	18,946
16		那覇市首里山川町	11,761
17		那覇市首里池端町	11,627
18		那覇市首里汀良町	22,361
19		那覇市首里石嶺町	15,677
20	県道 38 号線浦添西原線	浦添市城間	9,660
21		浦添市屋富祖	8,480
22		浦添市安波茶	20,174
23	県道 82 号線那覇糸満線	那覇市銘苅	<i>31,509</i>
24		那覇市古島	30,649
25		那覇市首里赤平町	34,824
26		那覇市首里崎山町	<i>39,794</i>
27	県道 28 号線	那覇市首里儀保町	8,301
28	宜野湾西原線	宜野湾市大謝名	27,353
29	県道 39 号線	那覇市安里	9,723
30	県道 43 号線	那覇市若狭	11,066
31	県道 46 号線	那覇市寄宮	17,489

注：斜体で示した交通量は推定値である。

出典：令和 3 年度全国道路・街路交通情勢調査（国土交通省道路局企画課 HP）

表 3.2.6-1(2) 自動車交通量

番号	路線名	交通量観測 地点地名	24 時間自動車類交通量 (上下合計) (台)
32	県道 47 号線	那覇市久米	5,562
33	県道 49 号線	那覇市首里真和志町	4,199
34	県道 50 号線	那覇市首里金城町	2,506
35	県道 153 号線	那覇市首里大名町	11,548
36		浦添市牧港	32,949
37	県道 155 号線	那覇市首里石嶺町	7,528
38	県道 241 号線 宜野湾南風原線	那覇市首里石嶺町	14,886
39	県道 251 号線 那覇宜野湾線	那覇市銘苅	15,424
40		浦添市内間	12,692
41		浦添市伊祖	16,005
42		浦添市牧港	11,915

注：斜体で示した交通量は推定値である。

出典：令和 3 年度全国道路・街路交通情勢調査（国土交通省道路局企画課 HP）

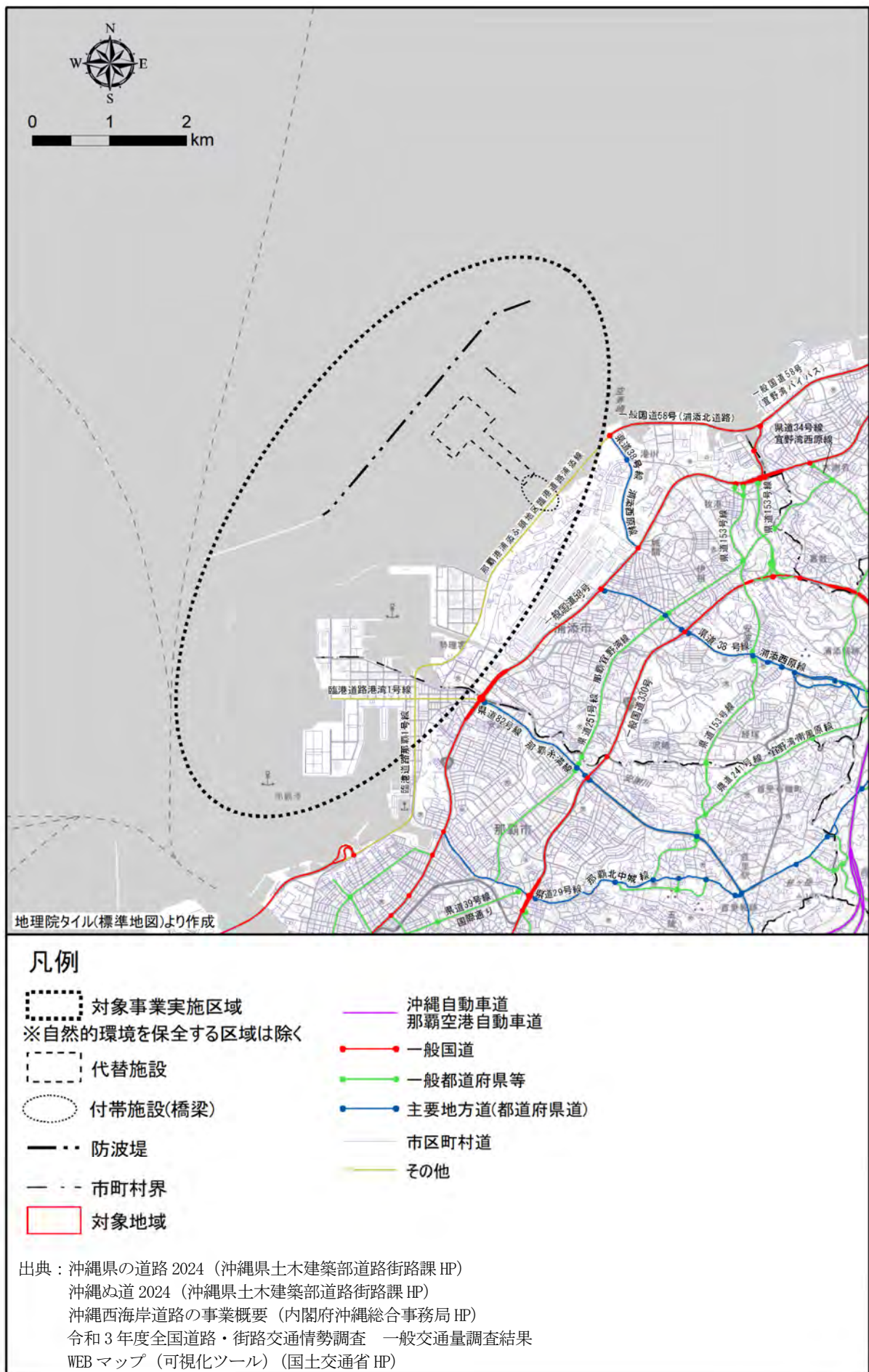


図 3.2.6-1 道路の整備状況

(3) バス路線

対象地域のバス路線の状況は、図 3.2.6-2 に示すとおりである。

浦添市域におけるバス路線は、一般国道 58 号と一般国道 330 号の南北方向に伸びており、これらと連結するようにバス路線網が形成されている。



図 3.2.6-2 バス路線図

(4) モノレール

対象地域における沖縄都市モノレールの状況は、表 3.2.6-2 及び図 3.2.6-3 に示すとおりであり、那覇空港駅からてだこ浦西駅までの 17km 区間が運行されている。

沖縄都市モノレールの乗客数は、令和 2 年度、令和 3 年度は低水準であったが、令和 4 年度以降は増加に転じている。

表 3.2.6-2 沖縄都市モノレール乗客数

区分	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
年間乗客人数	人/年	10,935,990	11,775,824	16,908,907	19,948,279	22,227,865
1 日平均	人/日	30,044	32,263	46,326	54,803	60,898

出典：沖縄都市モノレール/乗客数の推移（令和 7 年 3 月 31 日）
（沖縄県土木建築部都市計画・モノレール課 HP）



図 3.2.6-3 沖縄都市モノレール路線図

(5) 海上交通の状況

那覇港の入港船舶数は、表 3.2.6-3 に示すとおりである。

総隻数は令和 5 年に 7,789 隻となっており、その大部分を国内が占めている。

総トン数は令和 5 年に約 3,341 万 t であり、令和 4 年に比べ隻数は減少したものの、総トン数は増加がみられる。

那覇港の船舶乗降人員数は、表 3.2.6-4 に示すとおりである。

合計乗降人員数は令和 5 年に約 87 万人となっており、令和 4 年の約 47 万人に比べ大幅な増加がみられる。

那覇港を出入する定期航路及び不定期航路の状況は、表 3.2.6-5 に示すとおりである。県外航路は、東京、名古屋、大阪、神戸、瀬戸内、北九州、博多、鹿児島間で運行されている。県内航路は、先島、周辺離島間が運行されている。国外航路は、北米、中国、アジア、東南アジア（台湾）間で運行されている。

表 3.2.6-3 那覇港入港船舶数

年次	隻数（隻）			トン数（t）		
	総数	国外	国内	総数	国外	国内
平成 31 年 (令和元年)	8,729	834	7,895	50,631,950	34,125,170	16,506,779
令和 2 年	8,386	571	7,815	27,286,105	9,952,584	17,333,521
令和 3 年	7,912	516	7,396	24,516,560	7,319,984	17,196,576
令和 4 年	7,857	432	7,425	25,584,088	7,047,672	18,536,416
令和 5 年	7,789	521	7,268	33,411,143	13,948,588	19,462,555

出典：那覇港の統計（令和 5 年、那覇港管理組合 HP）

表 3.2.6-4 那覇港船舶乗降人員数

年次	合計（人）	外国航路（人）	内国航路（人）		
			計	県外	県内
平成 31 年 (令和元年)	1,971,533	1,347,776	623,757	59,417	564,340
令和 2 年	411,972	76,595	335,377	28,019	307,358
令和 3 年	320,527	0	320,527	25,942	294,585
令和 4 年	470,186	0	470,186	38,017	432,169
令和 5 年	867,776	296,661	571,115	51,750	519,365

注：表中の人数は、乗込人員と上陸人員の合計値である。

出典：那覇港の統計（令和 5 年、那覇港管理組合 HP）

表 3.2.6-5 那覇港を入出港する定期航路・不定期航路一覧

令和7年2月1日現在

区分		寄港地	
国内航路	東京	那覇-大阪-東京-大阪-那覇	定期
		那覇-中城-大阪-東京-大阪-那覇	定期
		那覇-本部-大阪-東京-大阪-那覇	定期
		那覇-志布志-油津-東京-(名古屋)-油津-那覇	定期
	名古屋	那覇-名古屋-豊橋(愛知)-鹿児島-那覇	不定
	大阪	那覇-大阪-那覇	定期/不定
		那覇-大阪-鹿児島-那覇	定期
		那覇-玉島(岡山)-大阪-那覇	定期
		那覇-名瀬-志布志-大阪-志布志-名瀬-那覇	定期
	神戸	那覇-志布志-大阪-神戸-大阪-志布志-那覇	定期
	瀬戸内	那覇-呉(広島)-三島川之江(愛媛)-高松(香川)-新居浜(愛媛)-那覇	定期
	北九州	那覇-ひびき(福岡)-那覇	定期
	博多	那覇-博多-那覇	定期
		那覇-伊予三島(愛媛)-博多-那覇	定期
		那覇-鹿児島-博多-鹿児島-那覇	定期
	鹿児島	那覇-鹿児島-那覇	定期
		那覇-博多-鹿児島-那覇	定期
		那覇-本部-与論-和泊(沖永良部)-亀徳(徳之島)-名瀬(奄美)-鹿児島-名瀬-亀徳-和泊-与論-本部-那覇	定期
	県内	那覇-石垣-那覇	定期
		那覇-石垣-与那国-那覇	定期
		那覇-平良-那覇	定期
		那覇-平良-石垣-那覇	定期
		那覇-平良-石垣	定期
		那覇-阿嘉-座間味-阿嘉-那覇	定期
		那覇-渡嘉敷-那覇	定期
		那覇-粟国-那覇	定期
		那覇-渡名喜-兼城(久米島)-渡名喜-那覇	定期
		那覇-北大東島・南大東島-那覇	定期
国外航路	北米	ロサンゼルス(サンペドロ)-オークランド-横浜-那覇-釜山-青島-上海-釜山-ロサンゼルス(サンペドロ)	定期
		ロングビーチ-ホノルル-アプラ(グアム)-那覇-寧波-上海-ロングビーチ	定期
	中国	上海-大阪-神戸-那覇-上海	定期
	アジア	ダバオ(フィリピン)-那覇-(博多)-(神戸)-ダバオ(フィリピン)	定期
	東南アジア(台湾)	※先島航路の延長 那覇-平良-石垣-高雄-那覇-博多-鹿児島-那覇	定期
		※先島航路の延長 那覇-平良-石垣-(厦門)-(高雄)-那覇-平良-石垣-那覇	定期
		那覇-志布志-細島-松山-大分-釜山-八代-那覇-基隆-台中-高雄-那覇	定期

注：寄港地の()は不定港を示す。〈 〉は国名、県名又は島名を示す。

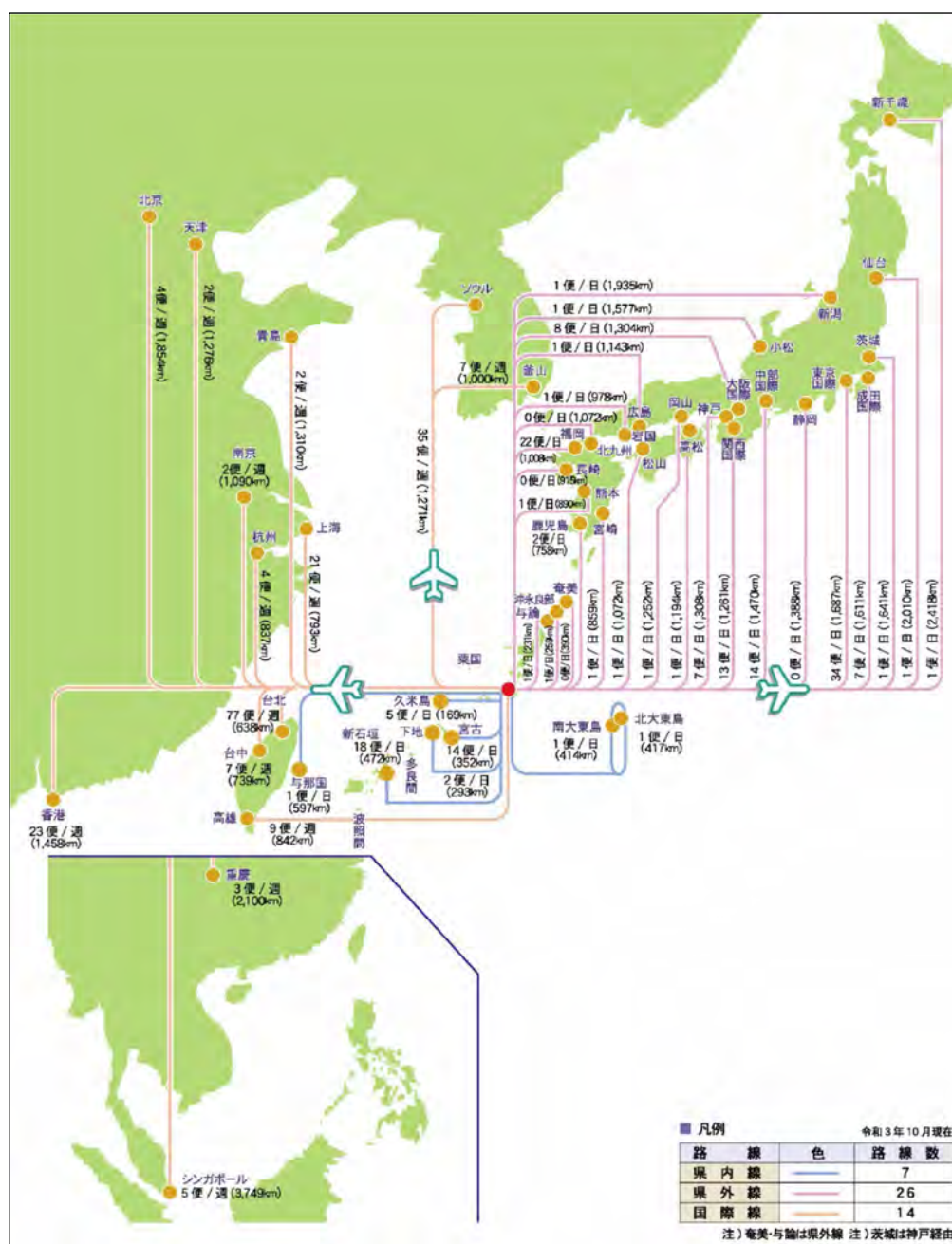
出典：那覇港を入出する定期航路・不定期航路一覧(那覇港管理組合 HP)

(6) 航空交通の状況

那覇空港の航路及び利用状況は、図 3.2.6-4 及び表 3.2.6-6～表 3.2.6-8 に示すとおりである。

航路は、県内線 7 路線、県外線 26 路線、国際線 14 路線、合計で 47 路線が運行している。

航空機の着陸回数は、令和 5 年度は 77,481 回であり、平成 31（令和元）年度に近い値にまで増加している。乗降客数は、令和 5 年度は国内線乗客数が平成 31（令和元）年度に近い値まで増加しており、国内線、国外線を合わせた乗客数は約 1,952 万人である。貨物取扱量は、令和 5 年度は約 18.3 万 t であり、令和 2 年度で大幅な減少がみられたが、令和 3 年度以降増加傾向がみられる。



出典：NAHA Airport

(令和 4 年 3 月作成 内閣府沖縄総合事務局開発建設部那覇空港プロジェクト室 HP)

図 3.2.6-4 那覇空港航空路線図

表 3.2.6-6 那覇空港航空機着陸回数の状況

年度	着陸回数（回）		
	国際線	国内線	計
平成 30 年度	12,805	69,158	81,963
平成 31 年度 (令和元年度)	11,060	68,234	79,294
令和 2 年度	68	50,229	50,297
令和 3 年度	136	59,091	59,227
令和 4 年度	1,533	71,917	73,450
令和 5 年度	6,250	71,231	77,481

出典：暦年・年度別空港管理状況調書（H26～R5）
（国土交通省航空局航空ネットワーク企画課 HP）

表 3.2.6-7 那覇空港の乗降客数の状況

年度	乗降客数（人）		
	国際線	国内線	計
平成 30 年度	3,913,399	17,633,981	21,547,380
平成 31 年度 (令和元年度)	3,149,051	17,464,568	20,613,619
令和 2 年度	487	6,588,217	6,588,704
令和 3 年度	3,678	7,994,473	7,998,151
令和 4 年度	408,546	15,820,837	16,229,383
令和 5 年度	2,066,860	17,457,101	19,523,961

出典：暦年・年度別空港管理状況調書（H26～R5）
（国土交通省航空局航空ネットワーク企画課 HP）

表 3.2.6-8 那覇空港の貨物取扱量の状況

年度	貨物取扱量（t）						
	国際線			国内線			合計
	積	卸	小計	積	卸	小計	
平成 30 年度	58,588	61,586	120,174	86,939	122,224	209,163	329,337
平成 31 年度 (令和元年度)	48,903	51,121	100,024	83,813	119,541	203,354	303,378
令和 2 年度	363	783	1,146	66,653	93,513	160,166	161,312
令和 3 年度	597	1,178	1,775	70,307	99,211	169,518	171,293
令和 4 年度	437	847	1,284	77,059	106,675	183,734	185,018
令和 5 年度	958	1,187	2,145	72,402	107,963	180,365	182,510

出典：暦年・年度別空港管理状況調書（H26～R5）（国土交通省航空局航空ネットワーク企画課 HP）